

3年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

地理B 第2学期末考査問題（1/6 一部修正）

実施日時：2019年12月9日（月）第3時限

出題者：加藤 一郎

受考上の注意……よく読んでから解答を開始せよ。

- ☐ 問題は22ページまでである。
- ☐ 解答用紙と日本地図は問題用紙に挟んである。
- ☐ 作図の問題は、問題用紙の図に書き込んで解答せよ。…とくに注意
- ☐ 解答用紙と世界地図は問題冊子に挟んで提出せよ。
- ☐ 文章で答える問題は、句読点も文字数に含む。
- ☐ 不必要なひらがなでの解答や誤字等は減点する。

* 第2問に関連して、今年3月末に中国東北部を旅行してきました。そのときの様子を Google My Maps にまとめてあります。パソコンでもスマホでも閲覧可能です。特別なアプリ（ソフト）は必要ありません。

<https://seifu.sakura.ne.jp/china/>



2019 3 年地理 B 2 学期末-2

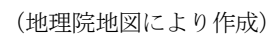
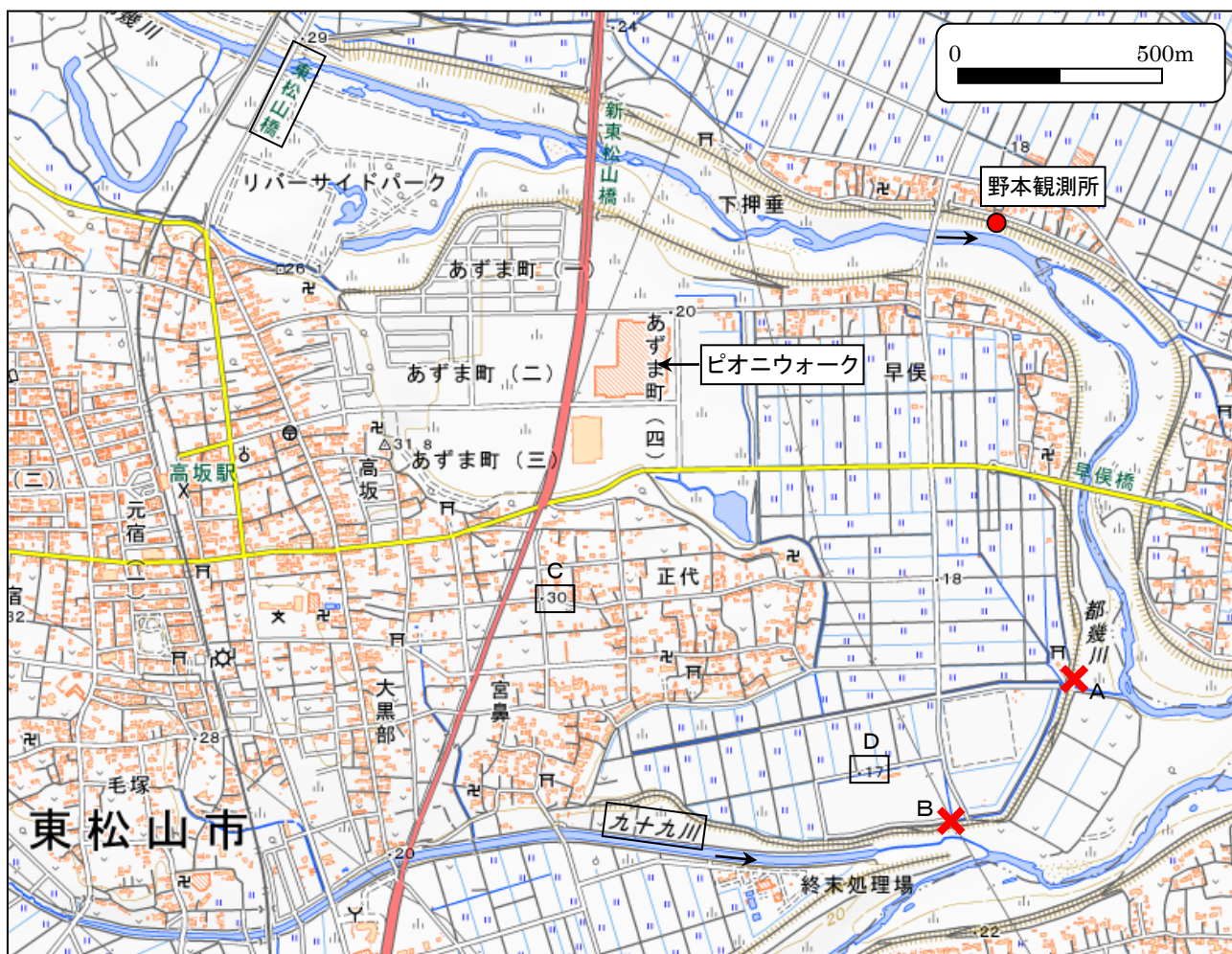


图 1

* このページは余白。



(注) ×は堤防が決壊した地点を示す。

(地理院地図により作成)

図2



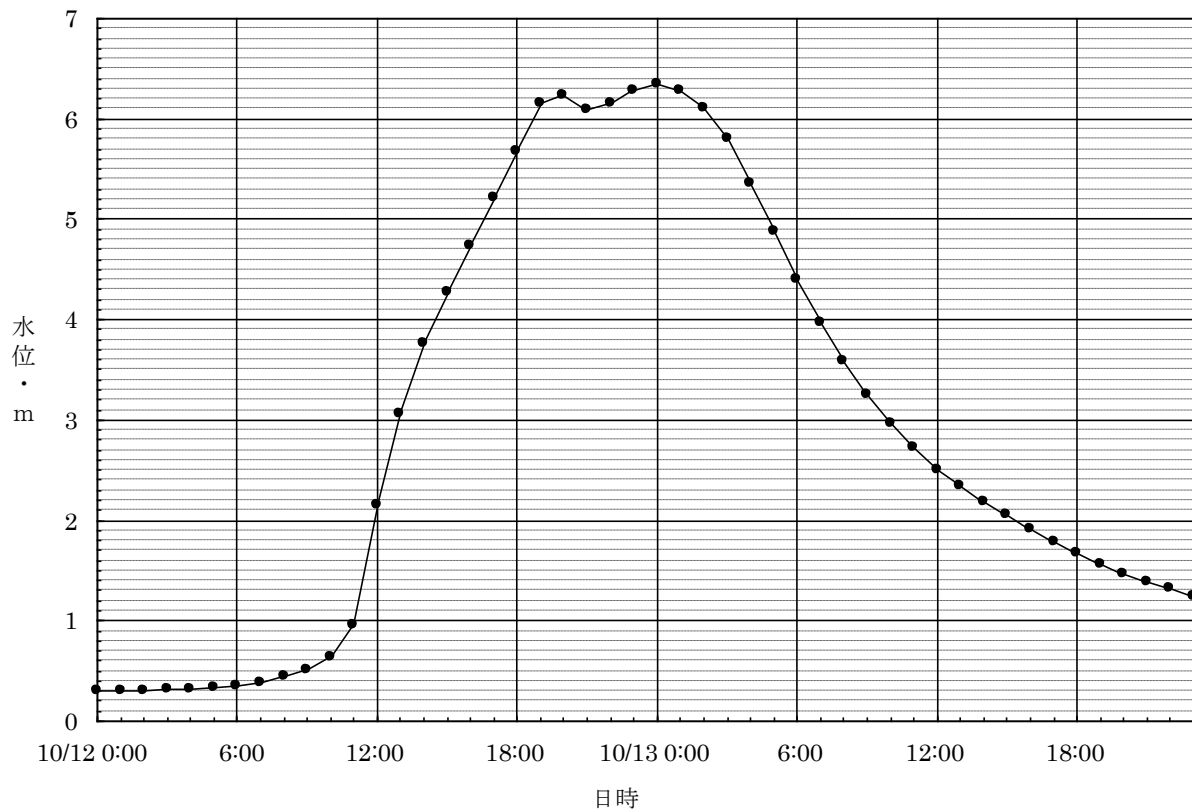
(注) 青色が濃いところほど浸水深が高く、薄くなる（白色に近づく）ほど低いことを示す。

(地理院地図により作成)

図3

I 都幾川の水位上昇と堤防決壊雨量の関係

問1 図4は、図2中の野本観測所（東松山市下押垂）における都幾川の水位の変化を示したものである。図4に関する各問に答えよ。(10)



(注) 水位 0mの標高は、16.6mである。

(国土交通省の資料により作成)

図4

(i) 野本観測所付近の堤防の高さは右岸・左岸とも 7m以上あり、この地点では堤防決壊や越水（水が堤防を乗り越えること）は免れたが、はん濫危険水位の 3.7mを超えている時間はかなり長かった。図4中の水位の変化を示した折れ線のうち、はん濫危険水位を超えている部分を赤でなぞれ。(4)

(ii) 野本観測所から下流にある図2中の決壊地点Aでは、台風通過後の10月13日午前9時に堤防が決壊した。このときの野本観測所の水位を答えよ。(2)

(iii) 先の(ii)から言える今後の教訓となることを1行の文章で答えよ。(4)

(修正)

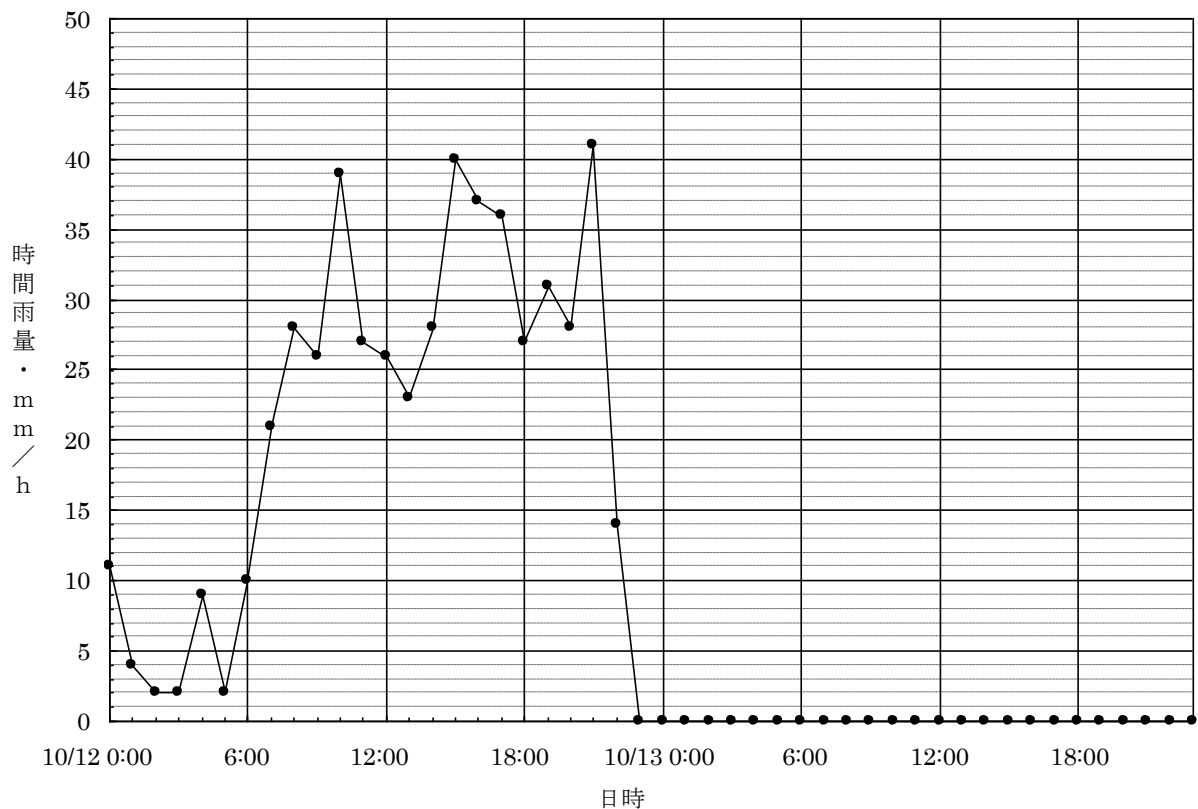
問題作成者は、「出水速報第3報」(荒川上流河川事務所)を読み間違えていたため、前ページの設問(ii)・(iii)は問題として成立していませんでした。実際に荒川上流河川事務所が堤防決壊を「確認」したのは、図2中の地点Bが13日の6時00分ごろ、図2中の地点Aは7時15分ごろでした(「出水速報第3報」)。荒川上流河川事務所計画課専門官の又吉健太氏によると、実際の堤防決壊時刻は夜間であったこと、当日は管内各所で堤防決壊や内水氾濫が発生しており、事務所内はかなりの混乱状態であったためにはっきりしないが、図2中の地点Bではマスコミの報道等から判断して12日21時ごろだと推定されるということです。

設問(ii)・(iii)の作問意図は、台風通過に伴って水位が低下しても堤防決壊の危険があるということにありました。したがって、解答例としては、(ii) 3.2m または 3.3m・氾濫危険水位を下回る、(iii) 大雨の後はたとえ水位が下がっても近づいてはいけません。でした。

そこで、今回の事実確認に基づいて問題を次のように修正します。

(ii) 図5は、野本観測所の上流にある都幾川の雨量観測所・堂平山(どうだいらやま)の時間雨量を示したものである。10月12日22時の時間雨量(10月12日21時から22時までの1時間の雨量)を答えよ。(2)

解答: 14mm



(国土交通省の資料により作成)

図5

(iii) 図4と図5を比較して読み取れることを1行の文章で説明せよ。ただし、10月12日22時から13日0時の間に注目して答えるものとする。(4)

解答例: 雨が止んでも、数時間は水位上昇が続く。

Ⅱ 東松山市早俣地区・あずま町地区の浸水

問2 図3は、浸水推定段彩図であり、青色が濃いところほど浸水深が高く、薄くなる（白色に近づく）ほど低いことを示している。図2・3に関する各問に答えよ。(16)

(i) 図2中の東松山橋から下流の都幾川右岸および九十九（つくも）川左岸に挟まれた区域における浸水域を考える。図2中に浸水域の境界線を青の線で入れ、境界線に囲まれた内部を青の斜線で示せ。(4)

(ii) 図2中の地点CとDの標高の差を答えよ。(2)

(iii) 先の(i)と同じ区域において、浸水しなかった区域の地形の名称を答えよ。また、答えた地形の説明にあてはまるものを選んで答えよ。(4)

ア かつて流れていた川の跡で、周りよりも標高が低くなっていることが多い。

イ 洪水時に川からあふれた水の中に含まれていた砂などが川の周りに堆積してできた微高地のこと。

ウ 古い時代（更新世、165万年前～1万年前）に形成された平野が隆起してできた平坦な地形。

エ 平坦な高台の縁（へり）にある細長い急な斜面のこと。

(iv) 東松山市危機管理課によると、浸水した早俣地区・あずま町地区に割り当てられた避難所は高坂小学校で、台風当日はほかの地区の住民も含めて 891 名の住民が避難したという。高坂小学校を地形図記号を手がかりに探し、図2中に赤の○で示せ。(2)

(v) 次の会話文は、洪水被害の記憶が薄れてきた 202X 年 X 月に開かれた東松山市役所主催「早俣地区・あずま町地区住民対象の避難所を検討するシンポジウム」の議事録の一部である。空欄にあてはまる文章を1行で答えよ。ただし、会話文として成り立つような表現を用いよ。(4)

住民A：高坂小学校は自宅から遠く、もっと近い避難所が必要です。

住民B：私も同感です。同居する家族に足の不自由な祖父がいます。祖父のことを考えると…。やっぱり避難所は近くないと困ります。切実な問題なんです！

住民C：あのお…。非常時だけピオニウオークの2階を避難所として利用できないでしょうか。

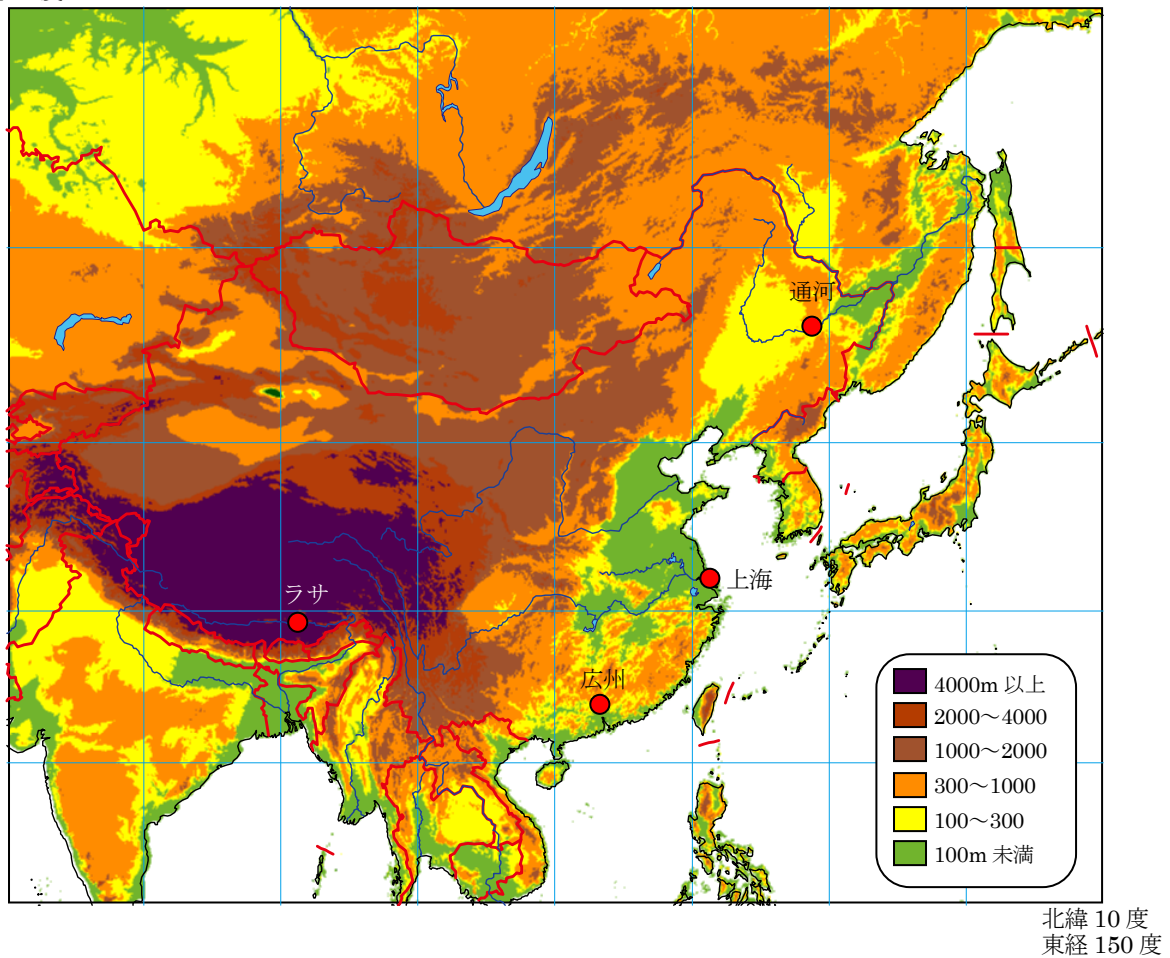
住民B：賛成です！ 2019年10月の台風19号でも1階は浸水しましたが、2階は問題なかったと聞いてます。

市職員：みなさんのお気持ちはわかりますが…。ここは冷静になりましょう。というのも、ピオニウオークは民間のショッピングセンターです。残念なことですが、商品の盗難なども起こる可能性があります。それ以上に考えなければならないことがあります。みなさん、図3の浸水推定段彩図を見て下さい。ピオニウオークの2階は危険ですよ。だって、()。

* このページは余白。

第2問 中国地誌に関するあとの各問に答えよ。(54)

北緯 60 度
東経 70 度



- (注)
- ・メルカトル図法による。そのため、緯線の間隔は高緯度ほど広がっている。
 - ・緯線と経線はいずれも 10 度間隔。
 - ・一部に国境線と河川がかぶっているところがあり、河川が優先的に示されている。

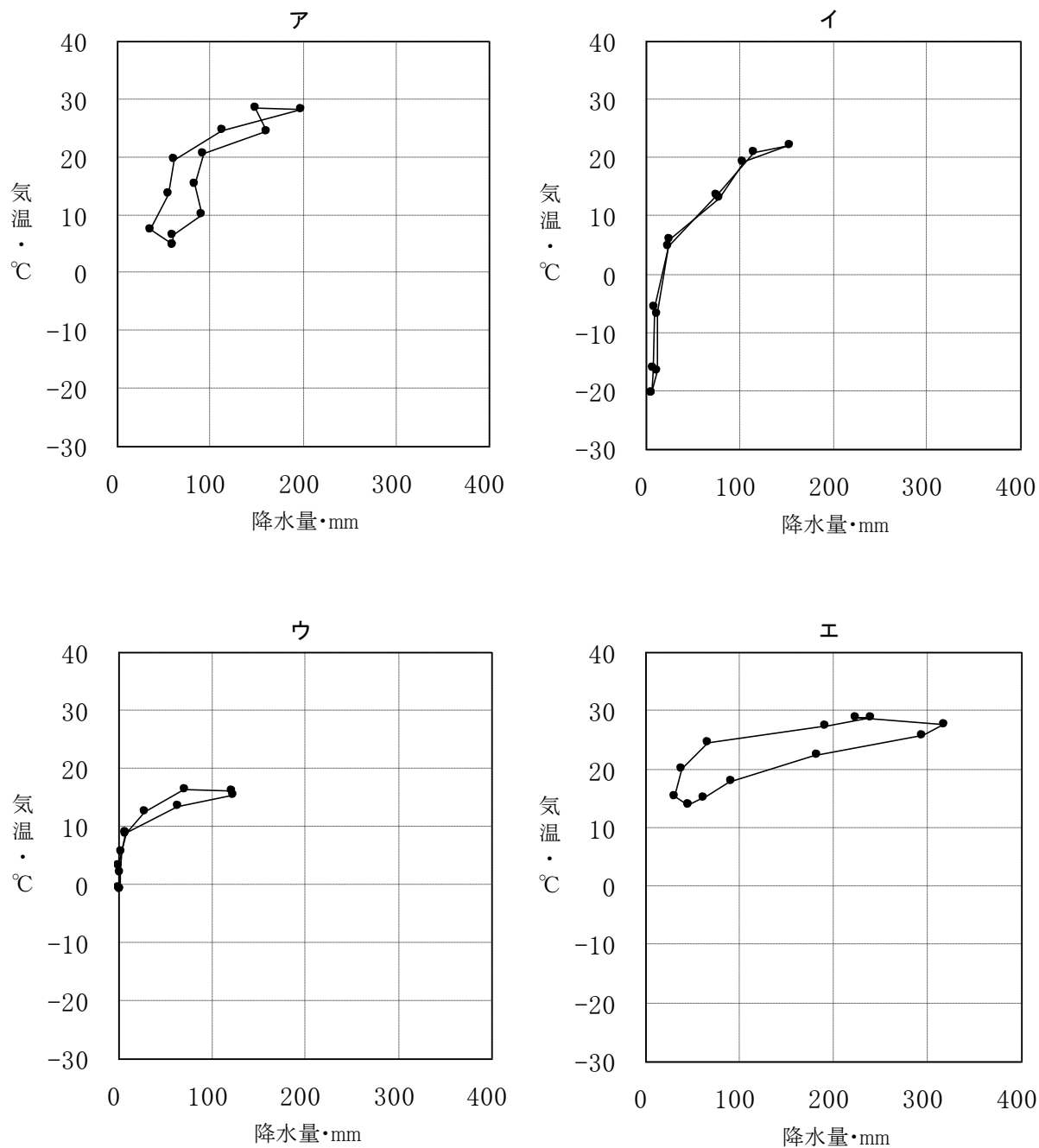
(地理院地図により作成)

図 1

I 中国の自然環境

問1 中国の面積は世界第4位、人口は世界第1位であるが、人口の分布はかなり偏っており、標高 1,000m未満の地域に集中している。人口密度の高い地域とそうでない地域を区分する境界線を、図 1中に赤の直線で記入せよ。(4)

問2 図2は、図1中の四つの都市のハイサーグラフである。各都市の緯度や標高などの気候因子に注目して、あてはまるものをそれぞれ選んで答えよ。(4)



(気象庁の資料により作成)

図2

Ⅱ 中国の歴史・19世紀半ばから現代までの近現代史

〔1〕

先生：今日の授業は、19世紀半ば20世紀はじめの中国の歴史を勉強しましょう。

生徒：中学校の歴史の授業で、1840年のアヘン戦争について勉強しました。当時の中国の王朝である清はイギリスに敗れた後、香港島をイギリスに割譲しました。

先生：清の弱体化が明らかになると、欧米諸国は競って中国に進出しようとします。1868年の明治維新後の日本の対外進出について知っていることはありますか。

生徒：日本は朝鮮に強い関心を持っていました。ところが、当時の朝鮮は清と深い関係にありましたから、日本と清は激しく対立します。1894年にはとうとう日清戦争が起こります。

先生：どちらが戦争に勝つのですか。

生徒：日本です。下関条約で清は朝鮮の独立を認めました。また、台湾と遼東（リャオトン）半島を日本に割譲しました。しかし、遼東半島の割譲については、ロシア、フランス、ドイツの3ヶ国が反対したので、日本はやむなく手放しました。これが三国干渉です。

先生：ロシアはどうやら中国の東北地方に強い関心があったようですね。

生徒：そうです。清はロシアが中心になって行った三国干渉の見返りとして、清はロシアに遼東半島の旅順と大連（ターリエン）を一定期間貸すことにしました（租借）。また、モスクワ―イルクーツク―チターハバロフスク―ウラジオストクを結ぶシベリア鉄道のバイパス線として期待されたチタとウラジオストクを結ぶ東清鉄道の敷設権を認めます。先生が3月に訪れた哈爾濱（ハルビン）は、東清鉄道の中間地点としてロシアが建設した都市なんですよ。さらに、ハルビンと大連を結ぶ東清鉄道の支線も敷設権が認められました。

先生：日本は大国であるロシアに屈したということですね。

生徒：ですからロシアに強い敵対心を持つようになるんです。1904年には日露戦争が起こります。

先生：どちらが戦争に勝つのですか。

生徒：日本です。アメリカの仲介でポーツマス条約が結ばれますが、日本は遼東半島の租借権、東清鉄道支線の利権、北緯50度以南の樺太をロシアから獲得します。

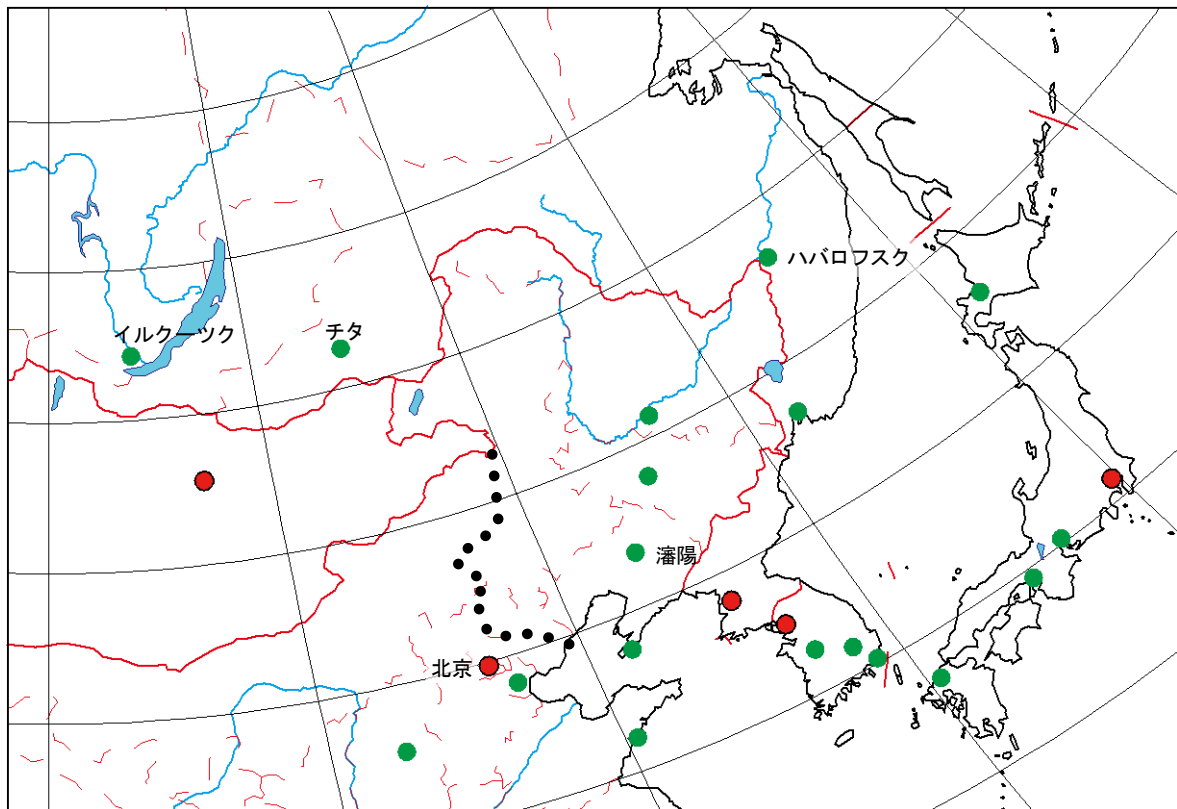
先生：これでロシアの脅威を気にせずに朝鮮に進出できますね。

生徒：ですが、これが朝鮮の人たちの反日感情を高めてしまいます。1909年、安重根（アンジュングン）という朝鮮人の青年によって、日本の朝鮮統治に関わった伊藤博文はハルビン駅で暗殺されます。このことがきっかけで翌年、朝鮮は日本の植民地になるんです。これが韓国併合です。

先生：ここに出てきたことを図3の地図にまとめてみましょう。

問3 下線部の都市名等を図3中にもれなく記入せよ。ただし、次の点に注意すること。(8)

- ・ リャオトン半島のおおよその範囲は緑の○で囲む。
- ・ 都市の位置は図3中にすべて○で示してある。
- ・ 名称（都市名・半島名・鉄道名・島名）はすべて鉛筆で記入する。
- ・ 鉄道（線路）は黄色の線で記入する。
- ・ 北緯50度以南の樺太は赤で塗りつぶす。



(注) 太い点線は 1932 年に成立した満州国と当時の中華民国の国境線を示す。

図 3

[2]

- 先生：今日は、前回の続きです。20 世紀半ばまでの中国の歴史を学習します。1912 年に中国では辛亥革命が起こります。
- 生徒：長江下流の南京（ナンキン）を首都とする中華民国が成立し、清が滅亡しました。清の最後の皇帝が溥儀（ふぎ）でした。ところが中国を一つにまとめることは容易ではありませんでした。
- 先生：なぜですか。
- 生徒：中国各地に軍閥（ぐんぱつ）とよばれる地方政権がたくさんできたからです。有名なのが、図 3 中の瀋陽（シェンヤン）、当時は奉天（ほうてん）とよんでいましたが、ここを拠点にしていた軍閥のリーダーが張作霖（ちょうさくりん）です。また、このころ中国共産党が結成され、国民党と対立するようになります。
- 先生：この混乱に乗じて中国東北部を支配しようとしたのが日本でしたね。
- 生徒：そうです。日本は 1931 年に満州事変を起こし、翌年には(1)満州国を建国しました。このころからアメリカとの関係が悪化していきます。
- 先生：満州国は「五族協和」、つまり、日本人、満州人（女真人）、中国人、朝鮮人、モンゴル人が協力して新しい国をつくらうとしますが、実際のところは日本の植民地としてとらえていいようですね。
- 生徒：そうですね。ですから、日本からはたくさんの農民が移住して、未開の満州の開拓をはじめました。
- 先生：私が 3 月に中国でお世話になったおじいさんの話によると、開拓村では日本人と中国人が一緒に暮らし、開拓に汗を流したそうです。
- 生徒：そして、ついに 1937 年には日本と中国の全面戦争が始まります。これが日中戦争です。日本は一部の大都市や鉄道の占領には成功しますが、いわゆる「面」の占領には至りませんでした。これは、対立していた国民党と共産党が一致団結して日本に対抗した（国共合作）ことや、日本を危険視するアメリカの中国支援が大きかったようです。
- 先生：南京の占領では、日本軍による中国市民などへの虐殺事件も起きましたね。
- 生徒：1945 年 8 月 15 日に日本政府はポツダム宣言を受諾して戦争は終わります。でも、その直前に満州国では悲劇が起こります。

先生：8月8日に日本と中立条約を結んでいたソ連が突然、日本に宣戦して満州国、そして朝鮮半島の北緯38度線の北側まで、そして(2)北方領土を次々に占領していきます。

生徒：そうです。日本の開拓民、その中心は女性や子ども、お年寄りですが、日本に帰国しようとしています。しかし、その途中で亡くなったりする人も多かったそうです。また、自分の子どもを知り合いの中国人に預ける人もたくさんいたそうです。これが中国残留孤児です。残留孤児の日本への帰還は、1980年代に入ってようやく行われます。(3)彼らが日本に定着して経済的に成功すると、同郷の親戚や知人を日本に呼び寄せます。現在、日本で生活する中国人は、多くが東北地方の出身者だと聞きました。

先生：なるほど。3月の旅行では、図1中の通河の近くの町・方正にある日本に帰国の途中、亡くなった人たちのお骨を納めたお墓を見学してきました。このお墓は、当時、日本と国交のなかった中華人民共和国政府が1963年に建てたものです。また、同じ敷地内には残留孤児を暖かく育ててくれた中国人養父母のお墓もありましたよ。

問4 【2】の会話文に関する各問に答えよ。(6)

(i) 下線部(1)の満州国の国境線を図3中に赤の線でなぞれ。ただし、海岸線はなぞらなくてよい。(2)

(ii) 下線部(2)に関して、現在もロシアが占領を続ける国後島と択捉島を図3中に記入せよ。(2)

(iii) 下線部(3)に関して、図4の写真はいずれも会話文中の先生(加藤)が今年3月の旅行中に撮影した写真である。

下線部(3)に関連する写真を選んで答えよ。(2)

ア



イ



ウ



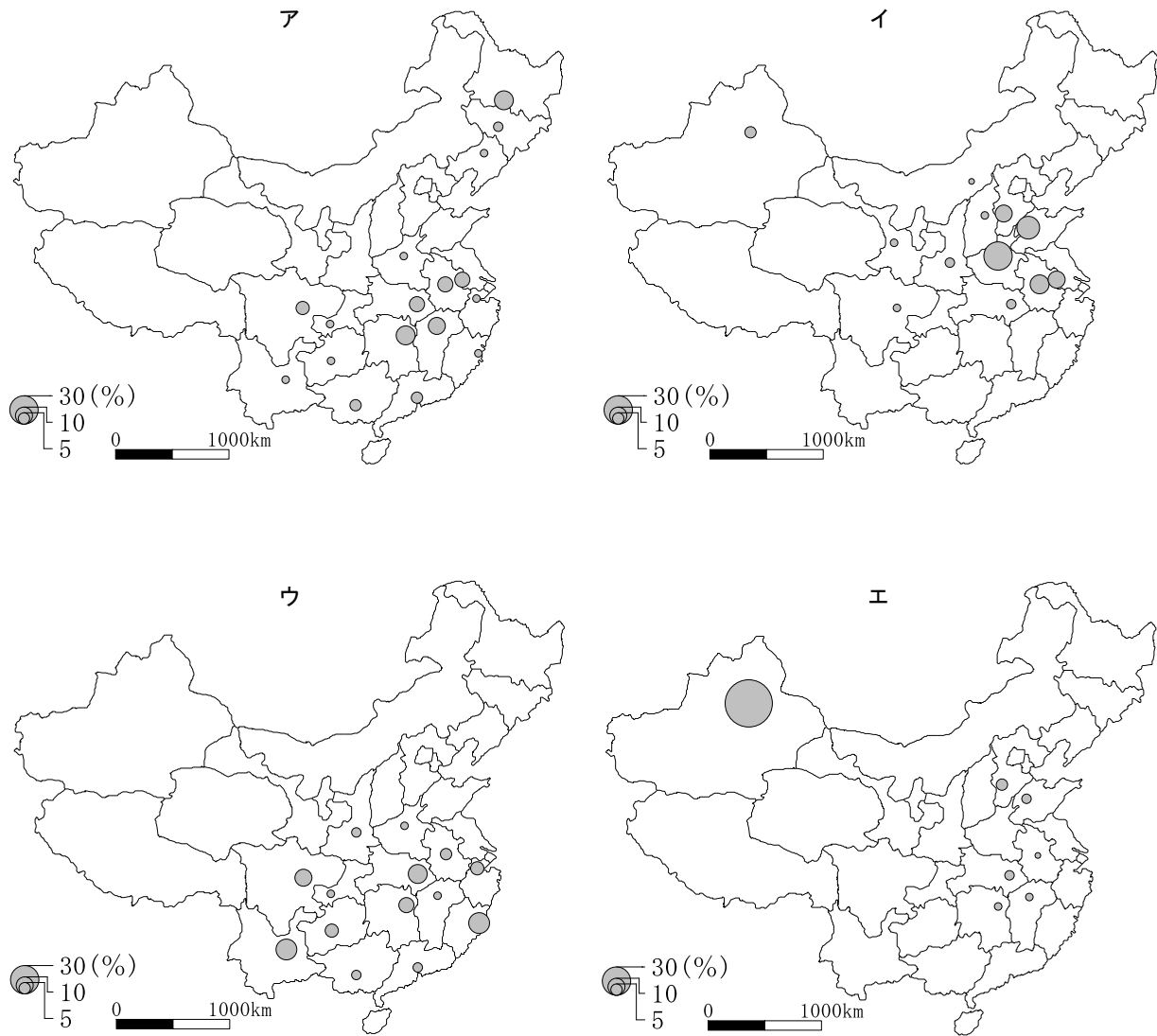
エ



図4

Ⅲ 中国の産業・農業と鉱工業

問5 図5は、四つの農産物の国内生産量に占める各行政区の生産量の割合（2017年）を示したものであり、ア・イは米・小麦、ウ・エは茶・綿花のいずれかである。文章カ～ケは、この四つの農産物について説明したものであり、カ・キは米・小麦、ク・ケは茶・綿花のいずれかである。小麦と茶にあてはまるものをそれぞれ選んで答えよ。ただし、図1や問2も参考にすること。（4）



(注) 割合が3%未満の行政区は除いている。

(中国統計年鑑により作成)

図5

- カ 原産地は長江中下流域説が有力。生育期に高温多雨な気候を好む。インディカ種とジャポニカ種。
- キ 原産地は西アジア周辺の乾燥地域。生育期に冷涼多湿, 生育期に温暖乾燥する気候を好む。春蒔きと冬蒔きがあり, 一年を通じて世界のどこかで栽培されている。
- ク 原産地はチベットから雲南(ユンナン)省。年中高温多雨で排水良好な山地や丘陵地の日当たりの良い斜面が栽培適地。
- ケ 原産地はインド北西部など。開花後は乾燥していることが必要。乾燥地域でも灌漑によって栽培可能。

問6 近年、中国の人々の食も変化してきた。このことに関する各問に答えよ。(8)

(i) 表1は、2003年と2013年の一人あたり品目別食料供給量(kg)をまとめたものである。10年間で供給量が減った品目と増えた品目をすべて答えよ。ただし、豆類は除く。(4)

表1

	穀類	いも類	豆類	野菜類	果実類	肉類	魚介類
2003年	158.0	74.5	1.2	270.5	49.7	58.1	32.1
2013年	150.9	68.7	1.3	353.1	93.9	64.5	44.6

(注) 人間の食料としての供給量であり、飼料用・種子用など人間の食料以外の用途によるものは含まれていない。

(『世界の統計』により作成)

(ii) 表2は、豆類の代表である大豆の2003年と2013年の国内生産量、輸入量、輸出量、国内供給量(万トン)をまとめたものである。表1では豆類の一人あたり食料供給量はほとんど変化していないのに、表2の国内供給量は大きく増えている。その理由として推察されることを、表1の豆類以外の品目に注目して2行の文章で答えよ。ただし、「表1を見ると○の消費が増えていることから、」に続く文章とし、「○」には表1中の品目が一つ入る。(4)

表2

	国内生産量	輸入量	輸出量	国内供給量
2003年	1,539	2,323	28	3,834
2013年	1,195	6,555	22	7,729

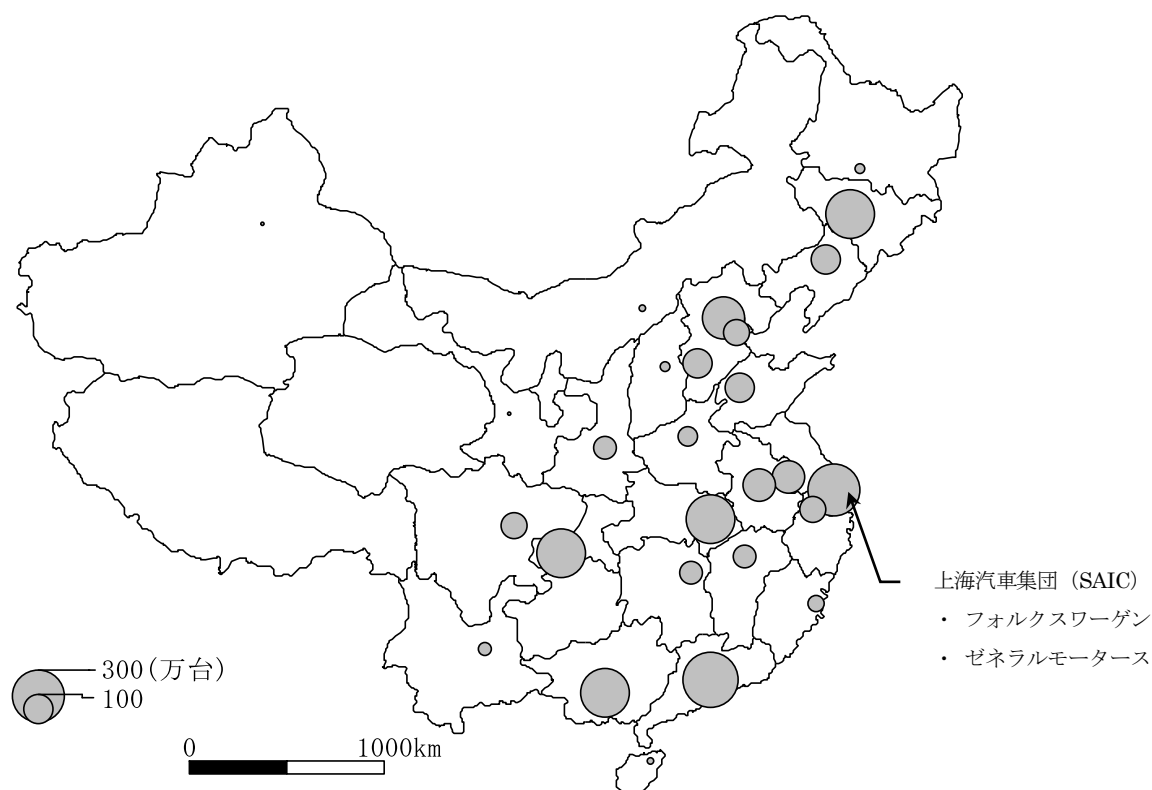
(注) ・食料用・飼料用・種子用などの用途は問わない。

・国内供給量＝国内生産量＋輸入量－輸出量。

(FAOSTATにより作成)

* このページは余白。

問7 図6は、2017年の行政区別の自動車生産台数を示したものである。自動車生産に関する各問に答えよ。(12)



(中国統計年鑑などにより作成)

図6

先生：現在、中国の乗用車とトラック・バスを加えた自動車生産台数は世界第1位で、2位のアメリカ合衆国、3位の日本を大きく引き離しています。ところで、図7を見て、気づいたことはありますか。

生徒：(1)他を圧倒するような生産台数の多い行政区は存在せず、中国の広い地域で生産されていることがわかります。

先生：そうですね。これには中国自動車産業の歴史が関係しています。

生徒：ということですか。

先生：1949年に社会主義国の中華人民共和国が成立しました。このとき中国を手厚く支援したのがソ連でした。1953年に(2)吉林(チーリン)省長春(チャンチュン)市に国有企業として第一汽車が設立されました。ソ連の指導の下、(a)の生産が始まりました。

生徒：1950年代後半になると、社会主義の考え方をめぐって中国とソ連は対立するんでしたね。

先生：ですから、ソ連人技術者は第一汽車を去ることになります。

生徒：第一汽車の中国人技術者は、自分たちですべてをやらなくてはいけなくなったんですね。なるほど、これも(x)の一つなんですね。

先生：でも、このことがかえって中国人技術者の技術向上につながったんです。たとえば、中国人技術者は、ソ連人技術者が残した設計図を自分たちで理解するところから始めました。結果的に、中国人技術者は(a)生産のノウハウを身につけることができたんです。

生徒：なるほど。とすると、吉林省の自動車生産台数が他の行政区を圧倒しているのではないかと思いますのですね。

先生：良いところに気づきました。中国政府は第一汽車の成功を見て、1965年に(3)湖北(フーペイ)省武漢(ウーハン)市に国有企業・第二汽車(現在の東風汽車)を設立しました。第二汽車では第一汽車が培ったノウハウを用いて、おもに(a)の生産が行われました。また、このころになると第一汽車では(b)の生産も行われるようになります。さらに同じころ、各省は中小自動車会社を次々に設立します。必要なノウハウは、第一汽車から中小自動車会社にも提供されたんですよ！

生徒：資本主義経済では考えられないことですね。ところで（ c ）の生産は行われていないのでしょうか。

先生：1960年代半ば～1970年代半ばといえば、中国はどんな時代ですか。

生徒：（ y ）の時代ですね。なるほど、経済が停滞していた時代ですから、（ c ）は中国共産党幹部や政府の幹部など、一握りの人たちの乗りものだったんですね。

先生：ところが、1970年代末から（ z ）が始まります。当時、ほとんどの自動車会社は（ c ）をつくるノウハウがありませんでした。この問題を解決するために、中小も含めて中国各地の自動車会社はどのような方法をとったのでしょうか。

生徒：（ z ）の時代ですから、中国各地の自動車会社は、海外の自動車会社と合弁企業を設立して生産したんですね。

先生：現在、第一汽車はフォルクスワーゲン、アウディ、トヨタ、マツダと合弁企業を設立しています。また、東風汽車（旧第二汽車）は、プジョー・シトロエン（PSA）、ホンダ、ニッサンと合弁企業を設立しています。

（i）空欄 a～c には、乗用車、バス、トラックのいずれかがあてはまる。空欄 a と b にあてはまるものをそれぞれ答えよ。(2)

（ii）空欄 x～z には、改革・開放政策、大躍進運動、文化大革命のいずれかがあてはまる。空欄 x と y にあてはまるものをそれぞれ答えよ。(2)

（iii）下線部(1)の理由にあたる 30 字以内の一文をそのまま抜き出せ。(4)

（iv）図 6 中の上海汽車集団（SAIC）は、中国最大の生産台数を誇る自動車会社であり、中国で初めて海外の自動車会社（フォルクスワーゲン）と合弁企業を設立したことでも知られる。下線部(2)・(3)の会社について、図 6 中の上海汽車集団（SAIC）にならって図 6 中に記入せよ。(4)

問8 中国の原油需給に関する各問に答えよ。(8)

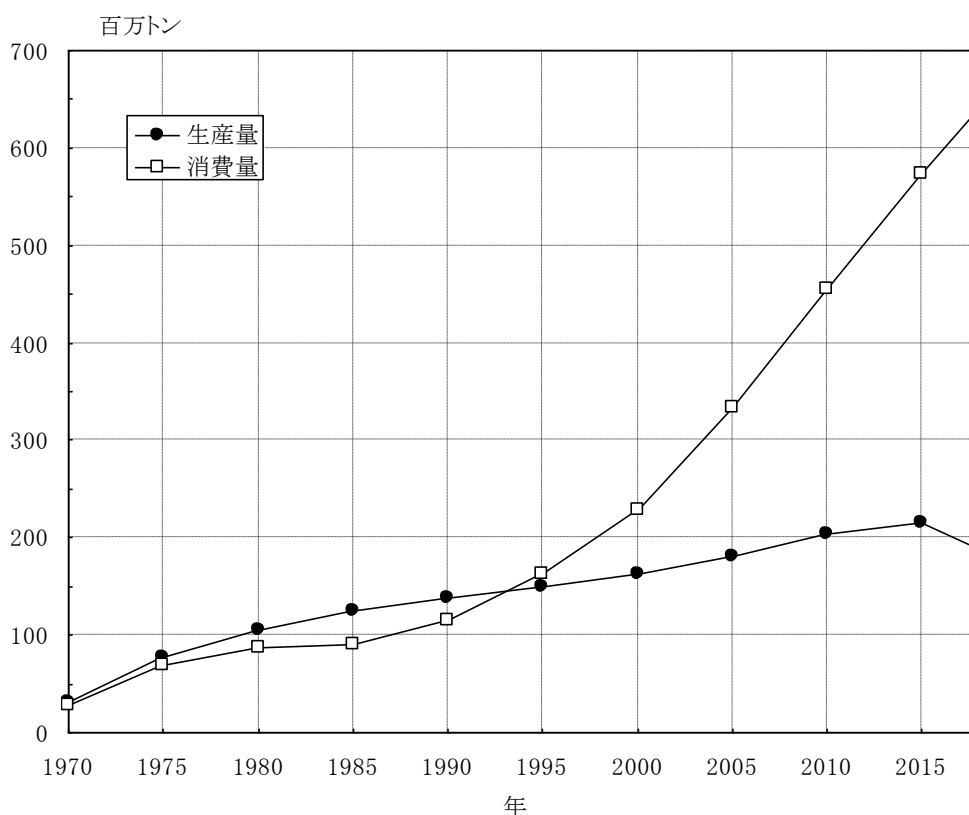
(i) 表3は、2018年の中国の原油輸入先を地域ごとに上位5位まで示している。次ページの地図中の南アメリカを例に、図形表現図と流線図を完成させよ。ただし、図形表現図の正方形の面積は輸入量に比例しており、流線図はタンカーの航路やパイプラインのルートを予想して作図すること。(4)

表3

	地域	輸入量(万トン)	輸入第1位の国
1	西アジア	20,197	サウジアラビア
2	アフリカ	8,742	アンゴラ
3	ロシア	7,149	ロシア
4	南アメリカ	6,199	ベネズエラ
5	北アメリカ	1,421	アメリカ合衆国

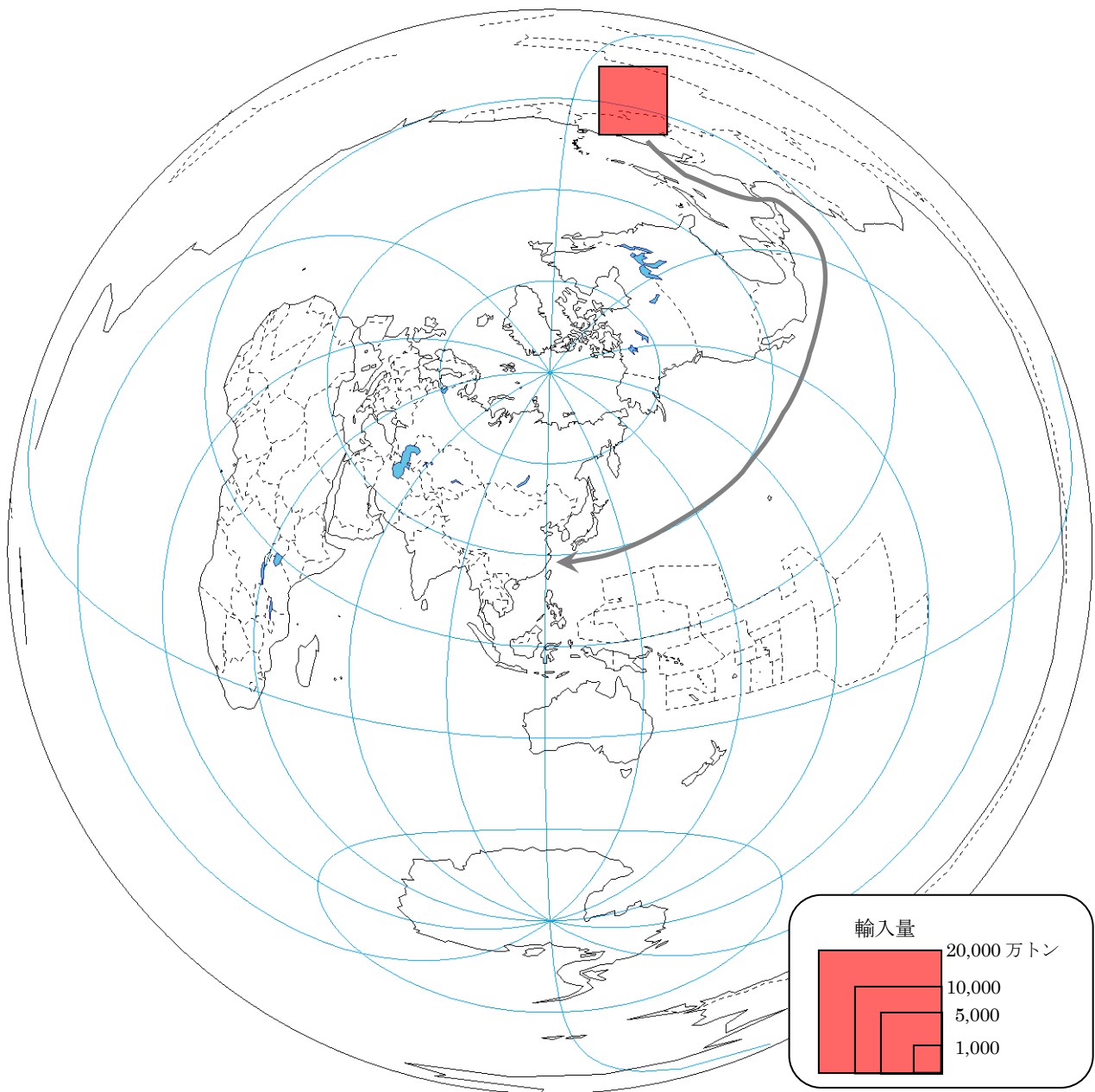
(「BP Statistical Review of World Energy June 2019」により作成)

(ii) 図7は、中国の原油の生産量と消費量の推移(1970～2018年)を示したものである。図7から読み取れることのうち、先の(i)と関連することを2行の文章で答えよ。ただし、「1995年以降は」に続く文章とする。(4)



(「BP Statistical Review of World Energy June 2019」により作成)

図7



(注) 上海（シャンハイ）中心の正距方位図法。

第3問 都道府県および都道府県庁の名称に関する各問に答えよ。なお、都道府県の位置は問題冊子に挟んであるA3版の地図を用いて答えよ。(20)

問1 次の説明にあてはまる都道府県の位置と都道府県の名称をそれぞれ答えよ。(12)

- a. 松坂牛, 桑名(くわな)の焼きハマグリ, <赤福>
- b. 出雲(いずも)そば, 宍道湖(しんじこ)のヤマトシジミ
- c. ずんだ餅, 牛タン焼き, 笹かまぼこ, <萩の月>
- d. 治部煮(じぶに), ゴリ料理, 甘エビ
- e. 小田原かまぼこ, 三崎のマグロ料理, 崎陽軒のシウマイ弁当
- f. ミカン, 鯛めし, 鯛めん

問2 次の説明にあてはまる都道府県の位置と都道府県庁の名称をそれぞれ答えよ。(8)

- a. 鳴門(なると)ワカメ, スダチ, サツマイモの鳴門金時(なるときんとき)
- b. 松葉ガニ, 二十世紀ナシ, 砂丘ナガイモ, ラッキョウ
- c. 魚沼産コシヒカリ, へぎそば, かんずり, <笹だんご>
- d. 馬刺し(馬肉の刺身), 辛子レンコン, デコポン

※ 問題終わり。

地理B 第2学期末考查解答用紙(1)

第 1 問 (26)

問1	ii	m		
	iii			
問2	ii	mm		
	iii	名称:	説明:	* 完答4点
	v			

第 2 問 (54)

問2		ラサ:	通河:	上海:	広州:	* 各1点				
問4	iii									
問5		小麦 地図:	説明:	茶 地図:	説明:	* 完答各2点				
問6	i	減少:					* 完答4点			
		増加:								
	ii	表 1 を見ると の消費が増えていることから,								
問7	i	a	b	* 完答2点						
	ii	x	y	* 完答2点						
	iii									
問8		1995年以降は								

p.4	() 点／6 点	浸水範囲(4), 高坂小(2)
p.6	() 点／4 点	はん濫危険水位(4)
p.8	() 点／4 点	人口境界線(4)
p.11	() 点／12 点	都市等(10×1), <u>満州国</u> (2)
p.16	() 点／4 点	合弁企業(2×2)
p.19	() 点／4 点	図形表現図と流線図(4×1)

3年 () 組 () 番 氏名 ()

地理B 第2学期末考查解答用紙（2）

第3問 (20)

問1	a	記号	都道府県	b	記号	都道府県
	c	記号	都道府県	d	記号	都道府県
	e	記号	都道府県	f	記号	都道府県
問2	a	記号	都道府県庁	b	記号	都道府県庁
	c	記号	都道府県庁	d	記号	都道府県庁